



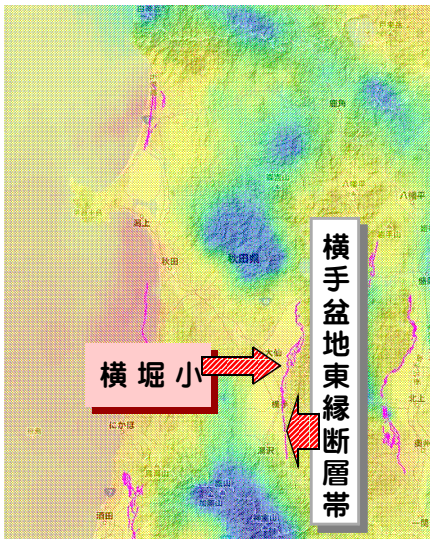
緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

命を守る「避難訓練」 横堀も地震への備えが必要です！

今から36年前の日本海中部地震。だいぶ年月が過ぎましたが、遠く足の小中学生13名もの命が犠牲となってしまったこの地震は、今も忘れられない災害です。本校でも、県民防災の日を前に、24日（金）全校児童が参加して、整然と避難場所へと移動することができました。当日は、大曲消防署東分署から3名の方にお越しいただき、避難の様子を覧の上、消火器の使い方についても実際に教えていただきました。右図のように私たちの国は、地震の起きやすいところにあること。そして、横堀も奥羽山脈付近の断層の影響や地盤の弱さもあるので、地震に対する備えが必要であることをお話しました。



いざというとき、「自分の命を自分で守る」ためにも、やはり「自分で考える」ことを大事に育みたいものです。
※冷静に行動する力
※「倒れてこない・落ちてこない・移動してこない」
安全な場所をとっさに見つけて身を守る力
※大人の指示を素直に聞いて行動する力
※多くの情報を取捨選択し活用する力
普段の授業や集団登校、たてわり活動の中でも、しっかりと育てていきたいと考えています。



ひまわり顔合わせ集会

令和元年の、たてわり班による「ひまわり」活動がスタートしました。全校の子どもたちが九つのグループになって、毎日そうじや集会、なべっこなどを楽しくしていきます。顔合わせ集会では、自己紹介をし合った後に、上学年が下の子どもをおんぶして新聞に乗るゲームや大きな輪になってチームで動くゲームを楽しみました。「楽しい学校」の思い出がまた一つ増えました。違う学年の子どもたちが、教室とはひと味違う“社会”の中、で『もまれる』学びは、とっても価値あるすてきな活動だと思います。「がまんすること」や「力を合わせることの喜び」を心の栄養にしてほしいです。



1. 2年生の「どろんこ遊び」の次は・・・

4・5年生の「田植え」

去年まで、「どろんこ遊び」を楽しんだ4年生と、田植の経験者である5年生が、田植をしました。私（校長）も、いろいろな学校で田植を経験しましたが、これほどの面積を子どもたちに任せてくれる田植も貴重です。川戸賀地区の北寿会の皆さん6名と、4・5年生のうちの方々6名にもご指導いただきながら、1時間お20分くらいかけて田植ができました。農業の大変さ、そして、子どもたちは、初めのうちは「気持ちいい」と喜んでいましたが、なかなかの重労働に口数も少なくなり、「きつい」「無理っ」「腰が痛い」という感想が漏れました。それでも、横堀の子どもは田植が上手だし、速い！学校対抗田植選手権でもあれば、優勝がねらえると思いました。自然に恵まれ、温かな学校の応援団に恵まれている横堀小学校、ばんざあい！



慣れた手つきの5年生！



みんな速い！！



どんどん上手に！！！！

お 原 真 い

すべての お父さん、お母さん
そして、おじいさん、おばあさんにも お願いです。

集団登校で学校に来ることを 横堀小のスタンダード(当たり前)に！

先生方と一緒に、これから全校みんなで取り組んでいきたいことを考えました。あいさつのこと、学習規律のこと、そうじの仕方、休み時間の過ごし方・・・等々。

その中で新登場したのが「集団登校で学校に来ること」です。
「できることをやりましょう」ということを、令和の時代の横堀小の生きるキーワードにして、子どもたちにも話しています。先生方にもお願いしています。

歩くことができる子どもには歩かせたいと考えています。このことは、帰りも同じです。事情や都合がある場合は担任にお話してください。

- ・体調が優れない場合はお話してください。
- ・家の都合がある日は教えてください。

夜のスポ少活動や冬の部活動帰りなどは、当然送迎が必要です。自然災害の危険性が考えられる場合や、不審者や熊の出没情報などがある場合も送迎をお願いしていきます。

車を利用するのは特別な場合であることを徹底したいと思います。
子どもたちの未来につながる体力作り。子どもたちの心を育む集団登校。
どうかご家庭のご理解とご協力をお願いします。